

県央圏域
県管理河川に関する減災対策協議会
(フォローアップ)

- ・平成29年度の実施状況
- ・平成30年度の実施予定

■水害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現

□県管理河川の洪水浸水想定区域図策定スケジュール

浸水想定区域を作成する対象河川

「洪水予報河川」：流域面積が大きく、洪水により相当な損害が生じる恐れがあり、水位等の予測が技術的に可能な河川

「水位周知河川」：洪水予報河川以外で、洪水により相当な損害が生じる恐れがあり、水位の到達情報を周知する河川

策定スケジュールは
変更の可能性があります



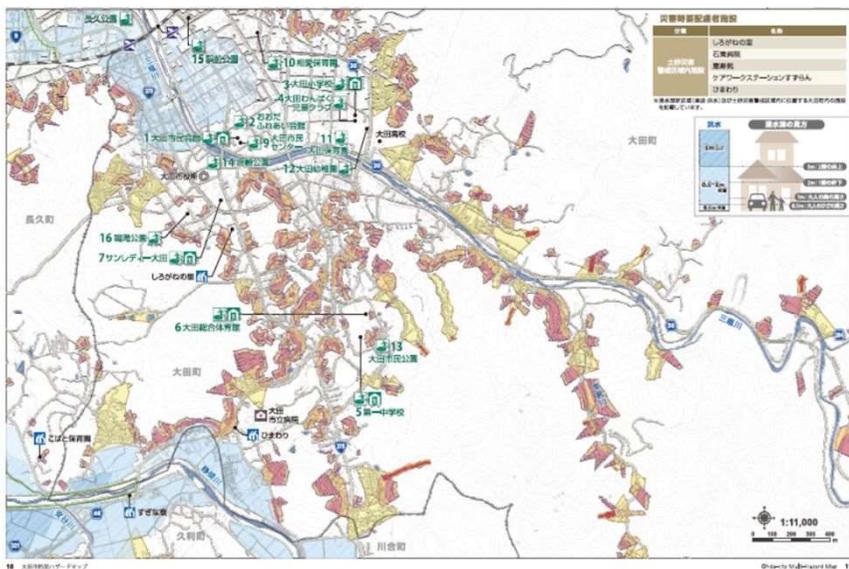
	対象河川	関係市町村	作成着手年次
1	意宇川	松江市	平成29年度
2	飯梨川	安来市	平成30年度
3	伯太川	安来市	平成30年度
4	斐伊川	雲南市	平成30年度
5	赤川	雲南市	平成30年度
6	三刀屋川	雲南市	平成30年度
7	久野川	雲南市	平成30年度
8	静間川	大田市	平成31年度 →平成30年度
9	三瓶川	大田市	平成31年度 →平成30年度
10	敬川	江津市	平成30年度
11	八戸川	江津市	平成30年度
12	浜田川	浜田市	平成31年度
13	周布川	浜田市	平成31年度
14	下府川	浜田市	平成31年度
15	三隅川	浜田市	平成31年度
16	益田川	益田市	平成29年度
17	津和野川	津和野町	平成29年度
18	高津川	吉賀町	平成29年度
19	八尾川	隠岐の島町	平成30年度

項目		2. 水害ハザードマップの改良・周知	
内容	H29年度取組	—	
	H30年度予定	—	
取組機関	大田市		

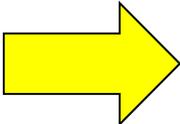
・ **想定最大規模降雨**に係る洪水浸水想定区域図を踏まえた**水害ハザードマップに改良**
 ・ 新たに作成された水害ハザードマップは住民配布や国土交通省ハザードマップポータルサイトへ登録するなど、**広く住民等へ周知**

現状のハザードマップ

例) 三瓶川



避難場所、避難経路等の再検討



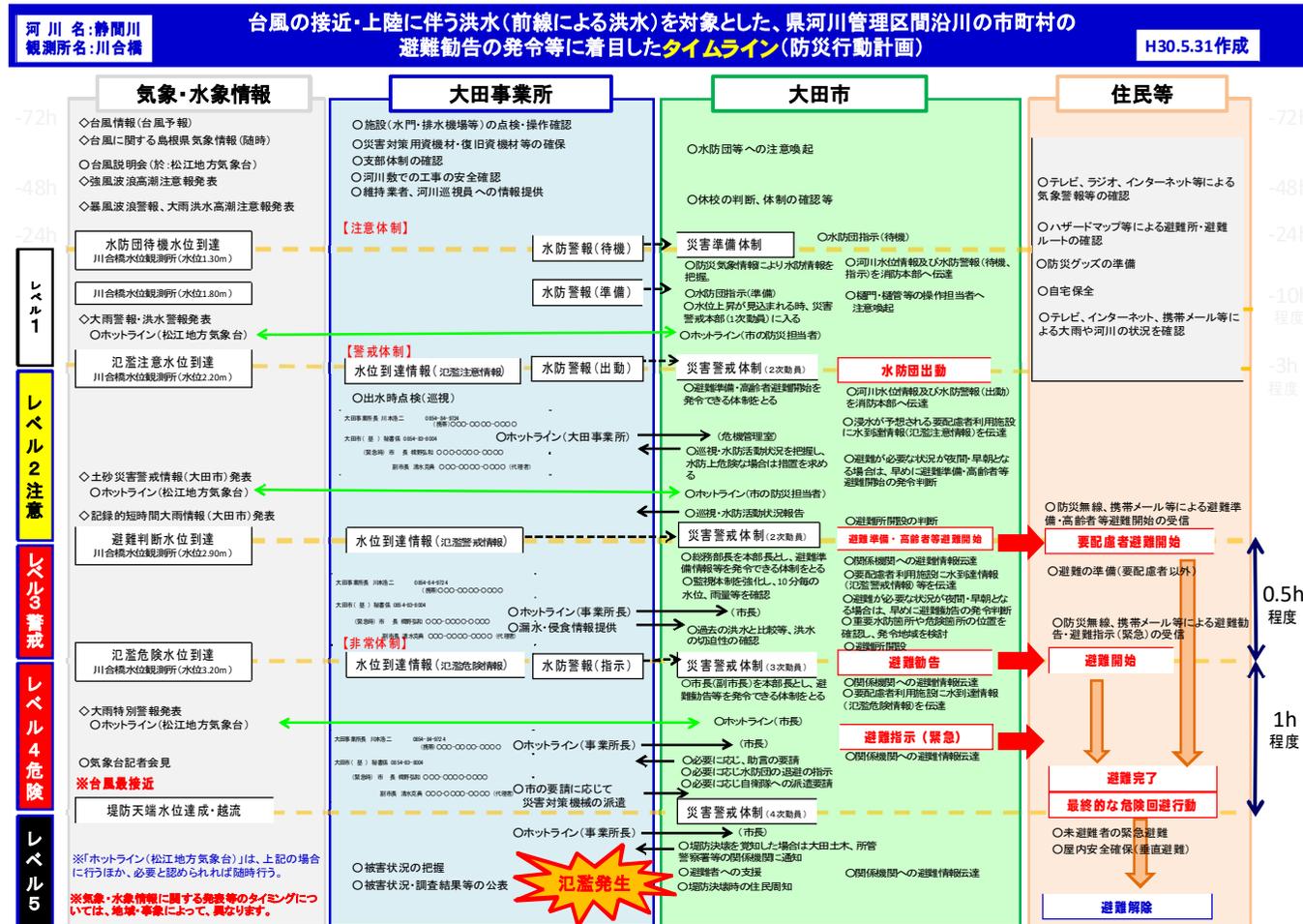
- ・ 住民配布
- ・ ポータルサイトへ登録



国土交通省ハザードマップポータルサイト
 ~身のまわりの災害リスクを調べる~
<https://disaportal.gsi.go.jp/>

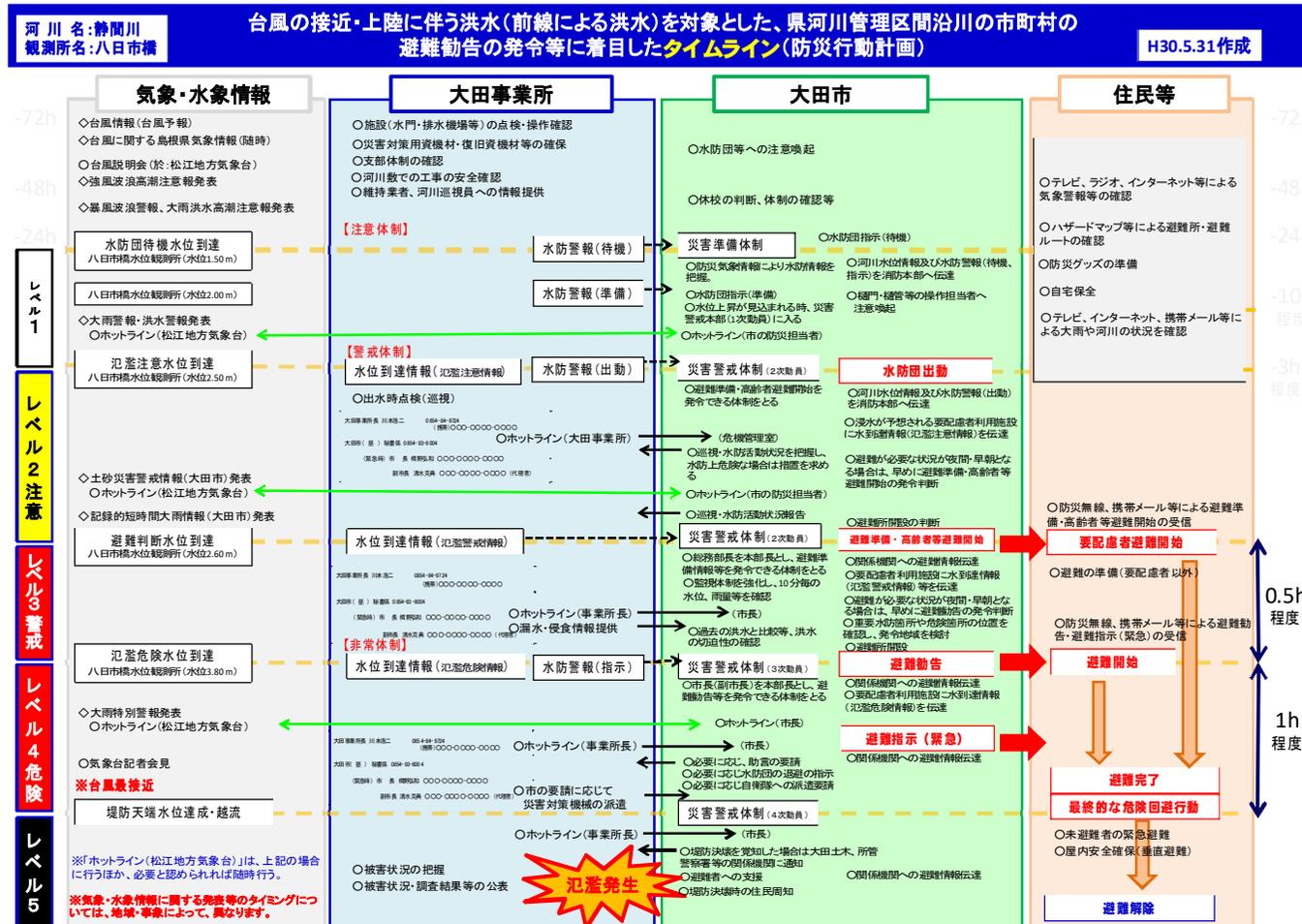
項目	3. 避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	
内容	H29年度取組	洪水予報河川・水位周知河川で水害対応タイムラインを作成に着手
	H30年度予定	出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有。実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し。
取組機関	大田市、中国地整、气象台、島根県	

静間川川合橋観測所



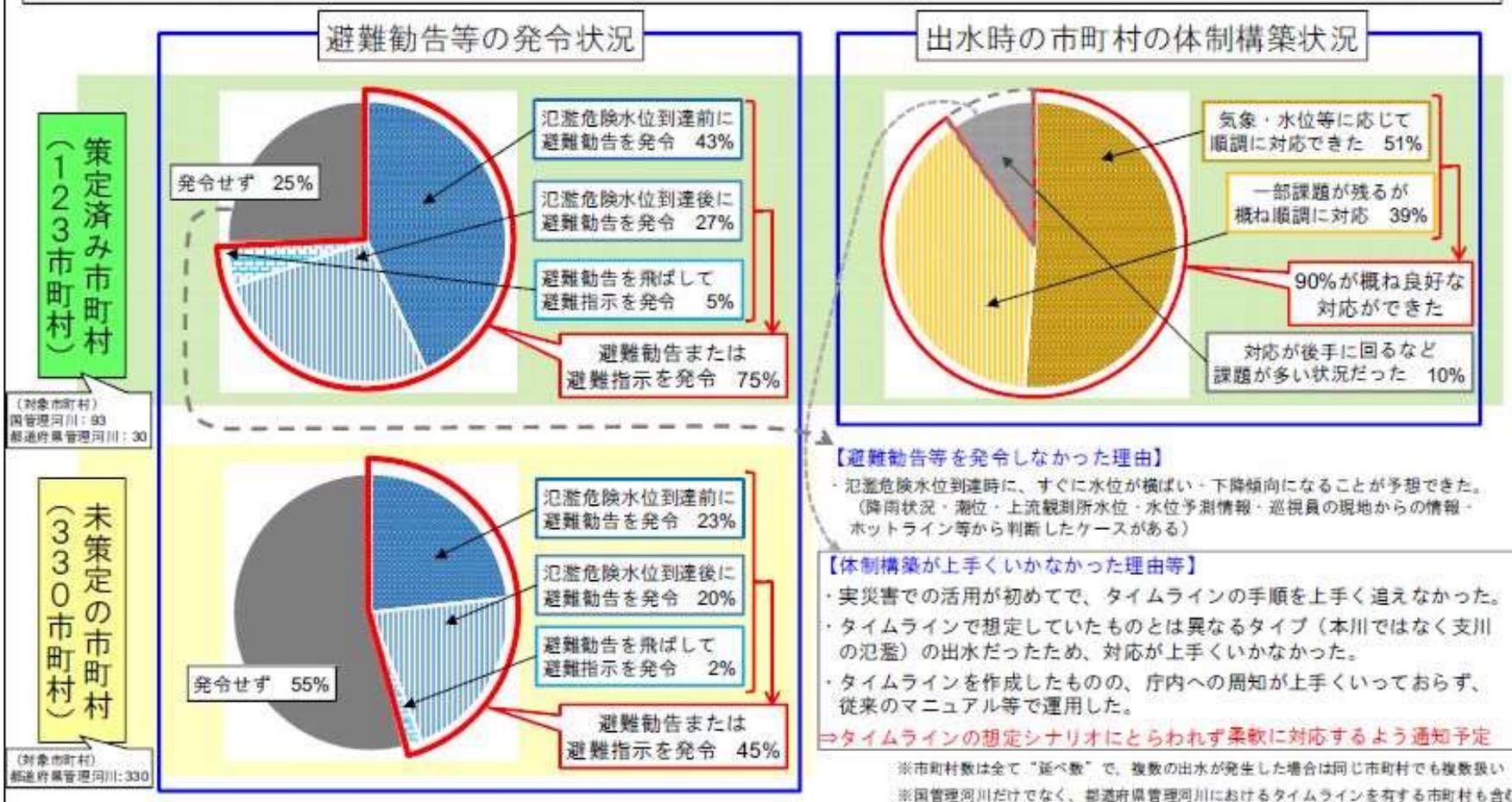
項目	3. 避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	
内容	H29年度取組	洪水予報河川・水位周知河川で水害対応タイムラインを作成に着手
	H30年度予定	出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有。 実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し。
取組機関	大田市、中国地整、气象台、島根県	

静間川 八日市橋観測所



水害対応タイムライン策定効果の検証

- 今年の出水で氾濫危険水位を超過した河川がある市町村(延べ451市町村)を対象に、タイムラインの策定状況と「避難勧告等の発令」及び「市町村の体制構築」がスムーズに行えたかどうか、聞き取り調査を実施
- タイムライン策定市町村では、迅速な避難情報の提供だけでなく、順調な体制構築・対応にも効果を発揮
- 今後、タイムラインの策定・活用を促すと共に、シナリオにとらわれない柔軟な対応ができるよう通知予定



項目	4. 洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの定着）	
内容	H29年度取組	情報伝達演習の実施
	H30年度予定	情報伝達演習の実施
取組機関	大田市、川本町、美郷町、邑南町、島根県	

【他事務所での事例】

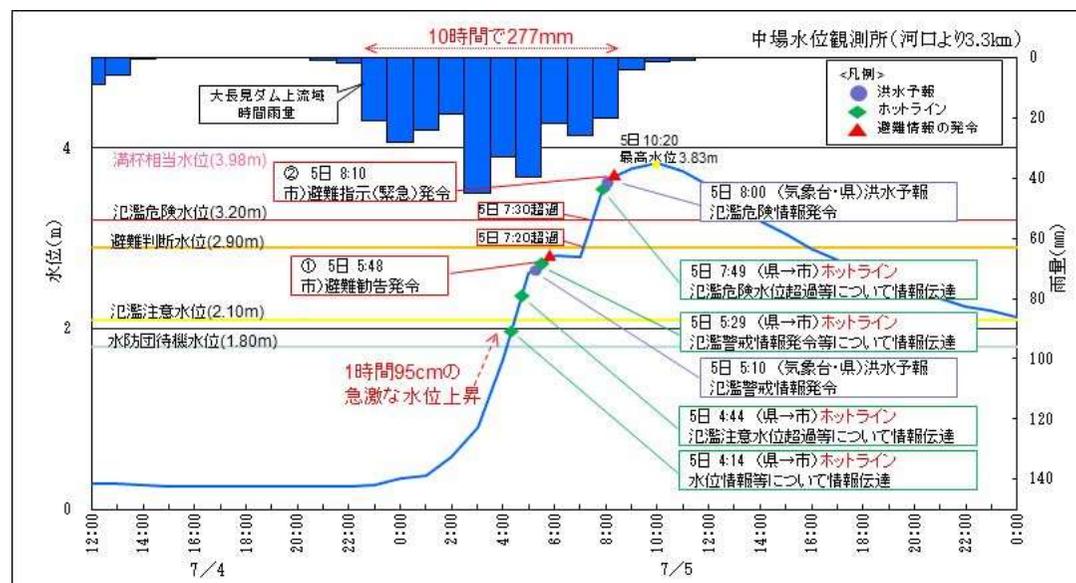
河川に関する情報伝達演習 (H29.4.28)



水防本部（河川課水防室）の状況

ホットラインを含めた情報伝達演習を実施 (H30.4.25)

周布川における水位とホットライン（情報伝達）・避難勧告等 (H29.7.4～5)



<避難状況>

避難勧告 5日5:48 周布町を含む8町(2816世帯、6283人)に発令
 避難指示 5日8:10 周布町を含む8町(2816世帯、6283人)に発令
 避難状況 避難所へは最大456人が避難

項目	5. 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	
内容	H29年度取組	出水期より、改善された防災気象情報を提供開始（松江地方气象台）
	H30年度予定	大雨警報・注意報（浸水害）基準及び洪水警報・注意報基準を改善するための調査を実施中（松江地方气象台）
取組機関	松江地方气象台、島根県	

平成29年度出水期に実施した 防災気象情報の改善概要



基本的方向性

- 社会に大きな影響を与える現象について、可能性が高くなくとも発生のおそれを積極的に伝えていく。
- 危険度やその切迫度を認識しやすくなるよう、分かりやすく情報を提供していく。

交通政策審議会気象分科会提言「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方（平成27年7月29日）より

改善Ⅰ 危険度を色分けした時系列

H29.5.17
提供開始

- 今後予測される雨量等や危険度の推移を時系列で提供
- 危険度を色分け

【改善策】

平成××年××月××日××時××分××地方气象台発表
××市
【発表】暴風、波浪警報 大雨、雷、濃霧注意報
【継続】高潮注意報

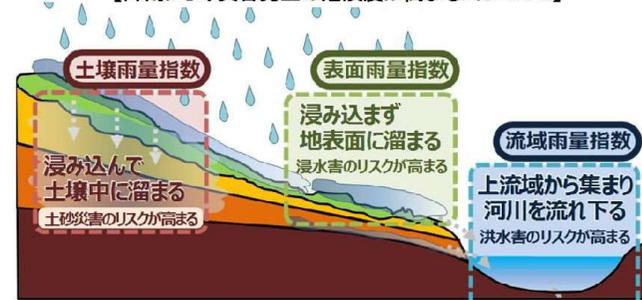
××市	今後の推移（■警報級 □注意報級）																
	7日	8日			9日							10日					
発表中の警報・注意報等の種別	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24
1時間最大雨量（ミリ） （浸水害）	10	10	30	30	50	50	50	30	30								
暴風 風速（矢印・メートル）	海上	陸上	海上	海上	海上	海上	海上	海上	海上								
波浪 波高（メートル）	5	5	8	8	8	8	8	7	7								
潮位 潮位（メートル）	0.7	0.7	0.8	1.0	1.8	2.0	1.8	1.2	1.2								

【現在】
注意報・警報
（文章形式）

改善Ⅲ 危険度分布（メッシュ情報）の充実

- 災害発生の危険度の高まりを評価する技術の開発（表面雨量指数・流域雨量指数）

【降雨により災害発生の危険度が高まるメカニズム】



改善Ⅱ 「警報級の可能性」の提供

H29.5.17
提供開始

- 夜間の避難等の対応を支援する観点から、可能性が高くなくても、「明朝までに警報級の現象になる可能性」を夕方までに発表
- 台風等対応のタイムライン支援の観点から、数日先までの警報級の現象になる可能性を提供

日付	明朝まで	明日	明後日	（金）	（土）	（日）
警報級の可能性	雨 中	—	—	中	高	—
	風 中	—	—	高	高	—

- 大雨警報・洪水警報等を発表した市町村内においてどこで実際に危険度が高まっているかを確認できる危険度分布の提供



- 危険度分布の技術を活用した大雨特別警報の発表対象区域の改善

項目	6. 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内容	H29年度取組	—
	H30年度予定	島根県／危機管理型水位計の整備 〔大田市：〇〇川、川本町：〇〇川、美郷町：〇〇川、邑南町：〇〇川〕
取組機関	島根県	

簡易型水位計の整備（H30.12頃予定）



洪水に特化した低コストな水位計の設置例



項目	7. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内容	H29年度取組	各市広報紙、新聞広報（考える県政）、防災出前講座、水防技術講習会
	H30年度予定	新聞広報、出前講座等を継続実施
取組機関	協議会全体	

**広報おおだ H29.5
(大田市)**

学校や地域での防災知識の普及（島根県）

今年も梅雨の時期が近づいてきました。例年この時期は、梅雨とくゆるの長雨や、近年多発する「局地的大雨」により、浸水害や土砂災害が発生しています。中でも、土石流やがけ崩れ、地すべりといった土砂災害は、突然的に発生し、尊い命や財産を一瞬にして奪います。こうした、自然災害から身を守るためには、「どこで」「どんな」災害発生の危険があるのか、また、災害発生時には「どこへ」避難するかなどを、日頃から確認しておくことが大切です。大雨時など、災害発生の危険を感じたときは、早めに避難しましょう。

**日頃の備えと早めの避難
災害から身を守るために**



大雨で崩壊した市道（温泉津町・熊谷線）

災害時の危険な箇所や避難場所などの確認を、災害の発生する恐れのある危険な箇所や建物場所・避難所は、防災ハザードマップに掲載されています。いざというときのために、防災ハザードマップを活用し、自治会や家庭で避難場所や避難所の確認をしましょう。非常持出品の用意を、万が一に備えて非常持出品を用意しておきましょう。

災害情報は迅速かつ正確にがけ崩れや、危険な場所などを発見した場合は、すみやかに左記のいずれかに連絡をしてください。

- 危機管理室 ☎0854・83・8009
- 危機管理室 ☎0854・65・3111
- 温泉津支所 ☎0855・65・3111
- 仁摩支所 ☎0854・88・2111

農地の被害報告は、農地・農業用施設が被災し、耕地災害復旧工事を申請される場合は、被災後おむね1週間以内での報告が必要です。市役所、支所や各まちづくりセンターにある「耕地即復旧申請書」により、早めに左記まで報告してください。

- 農林水産課（農林土木係） ☎0854・83・8103

気象情報に注意
日頃から、気象に関する情報に注意し、大雨などが予想される場合には、早めに避難を行うなど、迅速な対応を心がけましょう。

川本町民ら避難訓練
29入 県西部大雨受け真剣

川本町は9日、大雨による土砂災害を想定した避難訓練を行った。梅雨時の毎年実施し、今年も田舎の三原、南佐木など自治会の役員が連絡を取り合い、一住員を消防団員ら約50人が参加。西部は5日に避難所に行き、益田町など4市町に誘導し、土砂降りだった大雨特別警報が出された。豪雨に足踏われればかり、移動を指示し、住民は車で、参加者は真剣な表情で、大洪水警報が発せられた。土砂災害の危険性が高まったとの想定。町が選

同町田舎の佐々木都支校さん(78)は「土砂降りだと住宅を回っての安全確認は難しい。日頃から携帯電話を手放さないようにした」とし、田舎自治会の役員(86)は「訓練を重ねて自己防災意識を高めていきたい」と話した。(福間崇広)



防災学習会H29.7.9

項 目	7. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内 容	H29年度取組	各市広報紙、新聞広報（考える県政）、防災出前講座、水防技術講習会
	H30年度予定	新聞広報、出前講座等を継続実施
取組機関	協議会全体	

水防技術講習会の開催
(H30.3.18)

江津市総合運動公園において、国・県・市・消防団（江津市、浜田市、川本町、美郷町、邑南町）約200名の参加による水防技術講習会を開催し、水防に関する知識、技術の習得を図った



項目	8. 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検等	
内容	H29年度取組	出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、地元・消防団と確認(大田市)
	H30年度予定	出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、地元・消防団と確認
取組機関	大田市、川本町、美郷町、邑南町、各消防団等、島根県	

H30 共同点検案内 (H30.6.12)

H29 共同点検 (H29.6.13)

大田市長 様
(危機管理課)

島根県県央県土整備事務所長
(大田事業所)

平成30年度水防県央支部大田地区連絡協議会の開催及び危険箇所の巡視について

このことについて、下記のとおり開催しますので、担当者様の出席についてよろしくお願ひします。
なお、出席者については、お手数ですが別紙により6月6日(水)までにメール又はFAXにてご報告願ひします。

記

- 水防連絡協議会
 - 日時 平成30年6月12日(火) 13:30~14:30
 - 場所 大田集合庁舎 2階「第一会議室」
 - 議題 ①水防県央支部大田地区水防計画について
②近年の水防体制状況等について
- 危険箇所の巡視
 - 日時 平成30年6月12日(火) 14:30~16:00
 - 場所 「笹川」大田市静閑町地内(予定)
 - その他 ①場所については、変更する場合があります。
②大田集合庁舎からの移動は各自で願ひします。
- 参加機関
大田警察署、大田市危機管理室、大田市温泉津支所、大田市仁摩支所、大田市消防部、大田市消防団、県央県土整備事務所大田事業所

【問い合わせ先】
島根県県央県土整備事務所
大田事業所管理課 担当：加藤、平田
TEL 0854-84-9748 FAX 0854-84-9755
E-mail: katou-yutak@pref.shimane.lg.jp

■平成29年度 水防県央支部大田地区連絡協議会 【河川巡視活動】 平成29年6月13日(火)

事業名: 三瓶川リフレッシュ事業
場 所: 大田市長久町土江地内(イオン裏)
工事内容: 伐採、浸漙

項目	10. 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援	
内容	H29年度取組	対象施設の確認及び計画作成支援
	H30年度予定	対象施設に対する説明会の実施、作成支援
取組機関	協議会全体	

避難計画作成状況

◆大田市

<H29.3現在>		<H30.3現在>	
作成済み	4 施設	6施設	
未作成	4 施設	2 施設	
作成率	50 %	75 %	

◆川本町

<H29.3現在>		<H30.3現在>	
作成済み	0 施設	0 施設	
未作成	17 施設	17 施設	
作成率	0 %	0 %	

◆美郷町

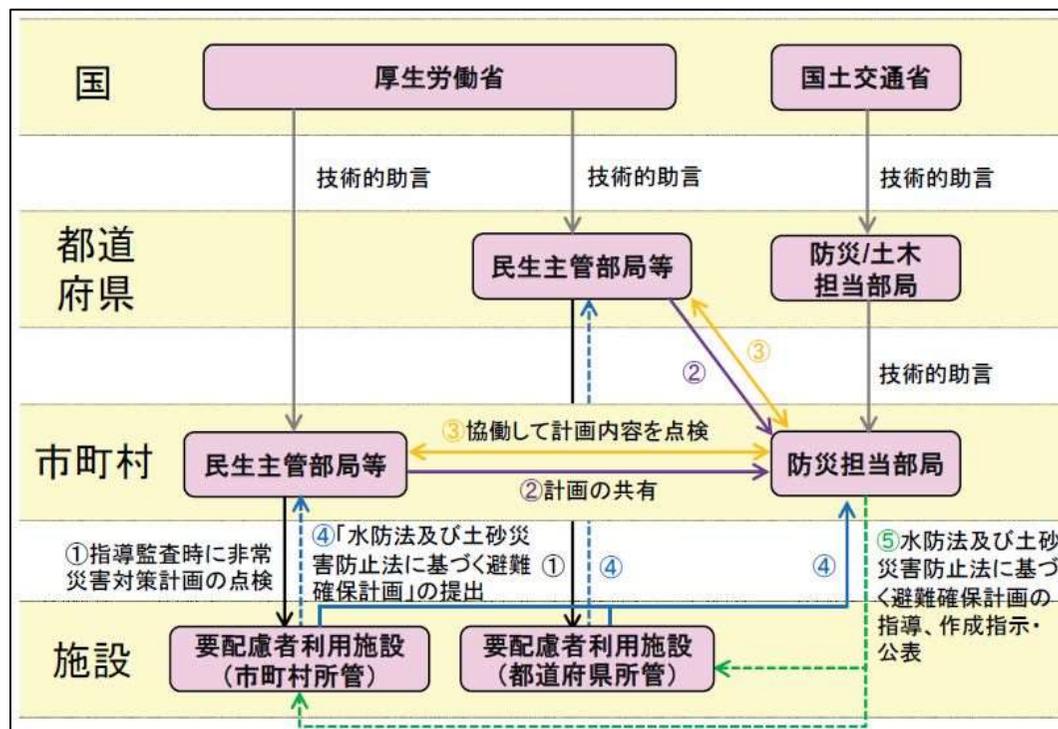
<H29.3現在>		<H30.3現在>	
作成済み	0 施設	0 施設	
未作成	0 施設	3 施設	
作成率	—	0 %	

◆邑南町

対象施設無し

※ 新たな洪水浸水想定が出来た段階で、再度、対象となる施設数の見直しを行う。

要配慮者利用施設の避難確保計画作成・点検の流れ



項目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内容	H29年度取組	地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施した
	H30年度予定	地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施する
取組機関	大田市、川本町、美郷町、邑南町、島根県	

H29 伐採・堆積土砂撤去

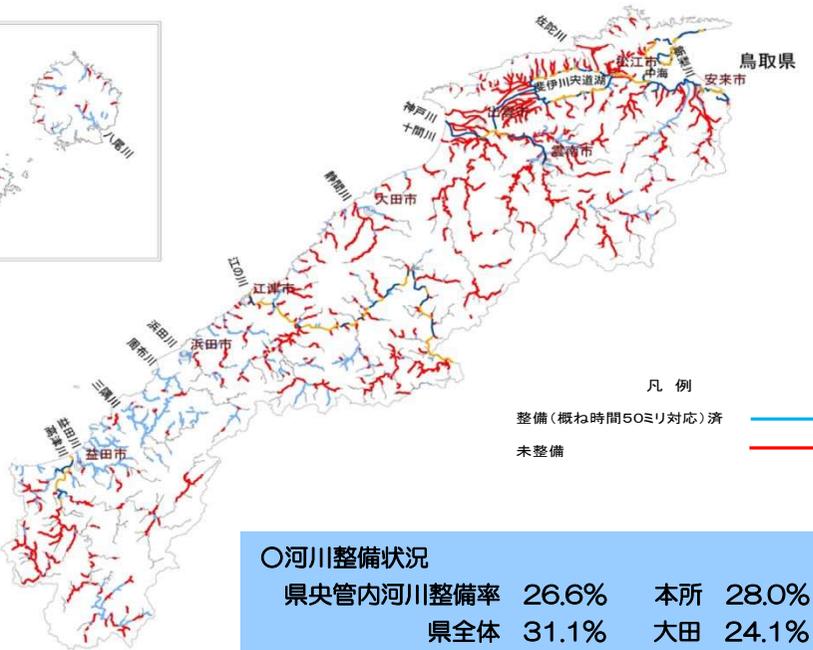
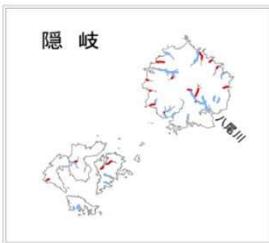
河積を阻害している、立木の伐採、堆積土砂の浚渫を実施



掘削前



掘削後



○河川整備状況			
県央管内河川整備率	26.6%	本所	28.0%
県全体	31.1%	大田	24.1%

堆積土砂の撤去状況

項目	12. 排水施設、排水資機材等の情報を共有	
内容	H29年度取組	島根県水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
	H30年度予定	島根県水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
取組機関	大田市、川本町、美郷町、邑南町、中国地整、島根県	

平成30年度 島根県水防計画抜粋

(1) 国土交通省所有機械基地名称及び位置

基地名	所在地	台数	規格	車両総重量(kg)
斐伊川出雲市河川防災ステーション	出雲市上塩治町	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s (揚程 20m) 機械番号 25-4706	18,070 未満
		1台	照明車 2kw×6灯 機械番号 11-4718	6,810
出雲河川事務所 中海出張所	安来市東赤江町福井1637	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s 機械番号 18-4708	9,030
		1台	照明車 2kw×6灯 機械番号 21-4703	7,770
浜田河川国道事務所 安富水防倉庫	益田市安富町	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s 機械番号 21-4702	9,340
浜田河川国道事務所 江の川下流出張所	江津市渡津町	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s (揚程 20m) 機械番号 21-4706	17,300
		1台	照明車 2kw×6灯 機械番号 11-4719	6,810
浜田河川国道事務所 多田水防倉庫	川本町多田	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s (揚程 20m) 本部付 機械番号 22-4700	17,050
浜田河川国道事務所 尾原水防倉庫	川本町川下	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s (揚程 20m) 本部付 機械番号 19-4704	17,270
		1台	照明車 2kw×6灯 本部付 機械番号 20-4705	7,650
浜田河川国道事務所 益田国道維持出張所	益田市あけぼの町	1台	照明車 2kw×6灯 機械番号 16-1709 本部付	

(2) 島根県所有機械基地名称及び位置

基地名	所在地	台数	規格	車両総重量(kg)
雲南県土整備事務所	雲南市木次町里方 531-1	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s	10,340

(参考) 平成19年6月2日に施行された改正道路交通法により、ポンプ車を一般道路で走行するためには、下記の区分による免許が必要となります。

「本部付」は災害対策本部長(局長)が管理することを意味する。

(3) 要請先(窓口)

1) 国土交通省所有機械

国土交通省出雲河川事務所	管理第一課	TEL 0853-20-1753 FAX 0853-22-6117
国土交通省浜田河川国道事務所	河川管理課	TEL 0855-22-2480 FAX 0855-22-2486
国土交通省中国地方整備局 企画部	防災課	TEL 082-221-9231 FAX 082-227-2651

2) 島根県所有機械

各県土整備事務所等(各水防支部・地区)	水防担当課	TEL 県水防計画 P6 参照 FAX #
十木部河川課(水防本部)	防災グループ	TEL 0852-22-6363

○島根県内の排水ポンプ車配備位置図



出雲河川事務所所有の排水ポンプ車



能力: 30m³/min (5 m³/min×6)
 設置人数: 5人程度
 運転時間: 約 48 時間
 (斐伊川出雲市河川防災ステーション)

能力: 30m³/min (5 m³/min×6)
 設置人数: 5名程度
 運転時間: 約 48 時間
 (中海出張所)

・設置人数は、標準的な現場において全台数の運転開始までの所要時間を1時間程度と想定した場合の参考値
 ・運転時間は燃料タンク残量での開始直後運転時間

項 目	13. 市町村庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進	
内 容	H29年度取組	—
	H30年度予定	—
取組機関	大田市、島根県	

大田市

【現状】

< 大田市立病院（災害拠点病院）（静間川） >

- ・洪水浸水想定区域外

< 大田市役所 >

- ・洪水浸水想定区域外（三瓶川）

県央圏域県管理河川に関する減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細）

赤字；H29取組内容
青字；H30取組予定

【資料2】

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関						備考
				大田市	川本町	美郷町	邑南町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	
■ 水害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現										
1	※想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知 ・浸水継続時間、家屋倒壊等想定氾濫区域の設定し公表	静間川、三瓶川	平成31年度末まで					平成28年度公表済		・想定最大規模降雨による浸水想定区域図作成・公表し、関係市へ提供。 ・H30～大田市
			H29取組状況						—	
			H30取組予定						洪水浸水想定区域図作成に着手	
2	※水害ハザードマップの改良・周知 ・想定最大規模降雨の浸水想定に基づく水害ハザードマップの改良・周知	対象流域	平成33年度末まで	・県の浸水想定区域図公表の後に、ハザードマップの見直し。 ・ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知。 ・印刷物の各戸配布						
			H29取組状況	—						
			H30取組予定	—						
3	※避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定 ・情報伝達演習等を通じ、改善を進めながら定着を図る	静間川、三瓶川	平成30年度出水期まで	・既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成 ・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し				・タイムラインの策定に関する支援	・水害対応タイムラインの確認・調整。水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言	・既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成 ・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し
			H29取組状況	適宜見直し				・対象河川の水害対応タイムラインの作成	・対象河川の水害対応タイムラインの作成	・対象河川の水害対応タイムラインの作成
			H30取組予定	適宜見直し				・実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し	・実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し	・実洪水・情報伝達訓練を通じて検証を行う
4	※洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの定着） ・出水期前の情報伝達演習等を通じて連絡体制の定着を図る	静間川、三瓶川	平成28年度から継続実施	・出水期前の情報伝達演習等を通じて連絡体制の定着を図る	・出水期前の情報伝達演習等を通じて連絡体制の定着を図る	・出水期前の情報伝達演習等を通じて連絡体制の定着を図る	・出水期前の情報伝達演習等を通じて連絡体制の定着を図る			・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る
			H29取組状況	情報伝達演習の実施	情報伝達演習の実施		県との情報伝達訓練実施(5月17日)		情報伝達演習の実施	
			H30取組予定	情報伝達演習の実施	情報伝達演習の実施		石見地域中野地区で防災訓練実施予定		情報伝達演習の実施	
5	※避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実 ・次期水防情報システムの開発により県民向け情報提供の充実等を図る ・防災気象情報の改善を図り、危険度やその切迫度を分かりやすく提供	圏域	平成32年度末まで						・防災気象情報の改善 ○操作法を改善し迅速な情報提供 ○危険度を色分けした時系列 ○観測データの異常値チェック機能 ○警報級の可能性の提供 ○危険度分布(メッシュ情報)の充実	・次期水防情報システムの開発 ○操作法を改善し迅速な情報提供 ○観測データの異常値チェック機能 ○スマートフォンに対応した情報提供 ○訓練シナリオの充実 ・雨量計、水位計等の更新
			H29取組状況					・平成29年度出水期より改善された防災気象情報を提供開始	・次期水防情報システム開発に着手	
			H30取組予定					・大雨警報・注意報(浸水害)基準及び洪水警報・注意報基準を改善するための調査を実施中	・次期水防情報システム開発	

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関						備考
				大田市	川本町	美郷町	邑南町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	
6	※水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備 ・県内モデル河川で検証した上で、順次拡大を図る	圏域	平成30年度から順次実施	・水位計の設置が必要な河川、箇所を河川管理者と検討する。	水位計の設置が必要な河川、箇所を河川管理者と検討する	・対象河川の有無及び選定を行う。	・水位計の設置が必要な河川、箇所を河川管理者と検討する。			・モデル河川に簡易水位計を整備し、効果を検証した上で順次拡大を図る ○モデル河川・・・今後調整
			H29取組状況	—	未実施	未実施	未実施			—
			H30取組予定	河川管理者との協議	水位計の設置が必要な河川、箇所を河川管理者と検討する	水位計の設置が必要な河川、箇所を河川管理者と検討する	河川管理者と協議し候補地を選定する。			検討中
7	※出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及 ・出前講座により水防情報の入手、活用方法等について周知 ・広報紙を活用した情報発信	圏域	毎年継続実施	・防災出前講座等により防災情報の入手、活用方法等について周知を図る	小学校、中学校、高校での防災教室の開催や出前講座の開催により防災地域の普及を図る	・広報誌等を利用した防災知識の普及 ・小・中学校での防災教室や地域での出前講座の開催により防災地域の普及を図る	・出前講座や防災講演会、広報誌等を利用し防災知識の普及を図る。	・防災知識の普及に協力	・出前講座等により防災気象情報の入手、活用方法等について周知。また、協議会として防災教育を実施する際には講師派遣、資料提供に対応。	・出前講座により水防情報の入手、活用方法等について周知 ・広報紙を活用した防災情報発信
			H29取組状況	自治会等における出前講座で情報入手、活用方法の周知を図る	H29.10.19 H29.10.26防災講座	・広報誌による防災知識の普及	・広報誌による防災知識の普及 (豪雨災害に関する情報掲載 4回) ・自治会単位での出前講座の実施 (豪雨災害に関する備え等について 11回)	・美郷町沢谷交流センター防災学習回において、気象に関する出前講座実施【H29.9.14】	・新聞広報(考える県政)【H29.6.18】 ・水防技術講習会【H30.3.18】	
			H30取組予定	自治会等における出前講座で情報入手、活用方法の周知を図る	H30.6.10出前講座実施予定	・広報誌による防災知識の普及 ・連合自治会の防災教室等開催		防災知識の普及に協力	出前講座等	・新聞広報、出前講座等
8	※水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検 ・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検を実施	静間川、三瓶川 他	平成30年度から	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検			・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検
			H29取組状況	出水期前の共同点検実施	未実施	未実施	未実施			出水期前の共同点検実施
			H30取組予定	出水期前の共同点検実施	未定	出水期前の共同点検実施				出水期前の共同点検実施
9	※水害危険性の周知促進 ・過去の浸水実績等を把握し、水害ハザードマップ等により住民へ周知 ・水位周知河川に新たに指定する河川について調整	—	平成32年度から	・水害実績等の周知検討	浸水実績の周知検討等	・浸水実績等の周知検討	・浸水実績等の周知検討			・過去の浸水実績や簡易な方法を活用した浸水想定区域を関係市へ提供。 ・役場等に係る河川を中心に対象河川を調整
			H29取組状況	—	—	—	—			—
			H30取組予定	—	—	—	—			—

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関						備考		
				大田市	川本町	美郷町	邑南町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台		島根県	
■ 要配慮者利用施設における確実な避難												
10	※要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成支援 ・施設管理者向けの説明会を開催(平成29年1月～2月) ・モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有	圏域	平成28年度から継続実施	・対象施設の策定状況の把握と策定に必要な支援の実施	作成に向けた支援の実施	・対象施設の策定状況の把握と策定に必要な支援の実施	対象無し	・平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ・避難確保計画作成に関する支援	・平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ・避難確保計画において防災気象情報を有効に活用する観点から助言	・平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ・モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有 ・例)モデル施設で避難確保計画の作成		
			H29取組状況	【平成30年3月末】 対象施設8施設(内訳) 避難計画策定済み6施設 避難計画未策定 2施設	作成に向けた支援の実施	作成に向けた支援の実施	対象無し	・要配慮者利用施設の管理者向け説明会の開催【H30.1.23】	未実施	・要配慮者利用施設の管理者向け説明会の開催【H30.1.23】		
			H30取組予定	継続	作成に向けた支援の実施	作成に向けた支援の実施		・説明会及び避難確保計画作成に協力する。	・計画作成支援を行う			
■ 被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る												
11	※河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策 ・河川整備状況を共有 ・河川改修、水門・排水施設の長寿命化について計画的に実施 ・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について優先箇所を定めて順次実施	圏域	平成28年度から継続実施	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	通水を阻害する堆積土砂・流木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	・河川状況の監視 ・通水を阻害する堆積土砂・流木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	通水を阻害する堆積土砂・流木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施			・河川整備状況を共有 ・河川改修、水門、排水施設の長寿命化について計画的に実施 ・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について関係市と調整し優先箇所を定めて順次実施		
			H29取組状況	—	—	・河川状況の監視と県への報告		・河道掘削、立木伐採については、地元、市町村の要望を踏まえて優先箇所について実施				
			H30取組予定	—	—	・河川状況の監視と県への報告		・河道掘削、立木伐採については、地元、市町村の要望を踏まえて優先箇所について実施				
12	※排水施設、排水資機材等の情報を共有 ・排水施設、排水資機材、備蓄水防災資機材等の共有 ・長期にわたり浸水が継続し重要施設(市町村庁舎等)が存する地域において排水計画作成	圏域	毎年継続実施	・排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有	・排水施設、排水資機材等の情報の共有	・排水施設、排水資機材等の情報の共有	・排水施設、排水資機材等の情報の共有	・排水施設、排水資機材等の情報の共有	・排水施設、排水資機材等の情報の共有 ・長期にわたり浸水が継続し重要施設(市町村庁舎等)が存する地域において排水計画を作成		
			H29取組状況	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有	・平成29年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有	
			H30取組予定	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有	・平成30年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有	
13	※市町村庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進 ・浸水想定区域内の市町村庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の共有 ・浸水想定区域内の市町村庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、協議会で共有	圏域	平成29年度から継続実施	・災害拠点施設に対する情報伝達体制・方法について共有を図る					・自衛水防推進に関する支援	・浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の共有 ・浸水想定区域内の市町村庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、協議会で共有		
			H29取組状況	市役所庁舎:浸水想定区域外 市立病院:浸水想定区域外							—	
			H30取組予定	市役所庁舎:浸水想定区域外 市立病院:浸水想定区域外								—